

# 京 唄子 特別公演

製作 松竹株式会社

丸山みどり

京 唄子

塩田誉之弘 / 作 吉村正人 / 演出

## 赤い風車と花笠道中

花柳阿矢女 / 構成・振付

京 唄子 七役早替り

## 華麗な七変化の舞

京 唄子がみせる

極めつけの早替りと

艶麗な立ち回りー!!

山陽路を舞台にくりひろげる

晩秋に咲く人情時代劇

長門 勇

宗方勝巳

芦屋雁平

工藤堅大良

山田スミ子

若葉ひろみ

御園恵美子

曾我廼家八十吉

萩 清二

【多紀郡4町合併 篠山市誕生記念公演】

'99 11/25 (木) 午後1時30分開演 午後6時開演

全席指定

- ◆ 入場料 / 一般 6,000円・団体 5,000円 (団体20名以上)
- ◆ 会場 / たんば田園交響ホール ☎ (0795) 52-3600
- ◆ 主催 / 篠山市 ◆ 協力 / 篠山市中年婦人連絡会



プレイガイド

〔篠山市内〕 ●小山書店 52-0019 ●森本書房 52-0125 ●木下楽器 52-0321 ●サワヤマ楽器 52-2019 ●みずほトラベル 52-4488  
 ●JA丹波旅行センター 94-3090 ●リプロ 94-0188 ●NEWS篠山総合サービスセンター 94-3700 ●西紀公民館 93-1111 ●今田公民館 97-2255  
 〔三田市内〕 ●三田サティーフ3F サービスコーナー ☎64-2121  
 〔氷上郡内〕 ●柏原観光案内所 73-0303 ●丹波の森公園 72-5170 ●春日町文化ホール 74-1050 ●ライブピアいちじま 85-3030





# 赤い風車と 花笠道中

あざやか！唄子の早替わり！！

## ●あらすじ

山陽道に流れてきた旅鳥、白瀧の真三郎は、備前岡山の見晴し峠で、この土地の貸元、播磨の虎吉と、その舎弟黒松一家に襲われ、とどめをさされようとしていた親子を助けます。

聞くと、その男は尾ノ道の大工、矢七といい、だまされて女郎に売られた女房、お美乃を探す旅の途中で身請けの金、十兩を奪われたのこと。「健吉を母親のお美乃に……」いまわの際の彼の頼みで、その子健吉を託された真三郎は、はからずも子連れ旅となりました。

一方、岡山の下下では、お城の御金蔵破りの女大名小僧が、世直し大明神と評判をとっていました。大名や私腹を肥やす重役職、悪徳商人を襲い、その金を貧しい人々にバラ撒く、義賊、女大名小僧：実は旅回りの花村家お柳一座の座長、お柳、その頭取の伊助。その正体を知りつつ、その義賊ぶりに惚れて用心棒を務める懸賞首狙いの浪人、大木鉄斎。彼らを陰から見つめる道中奉行、探索目附役の秋月兵馬と、その配下のお鈴。

さて、女大名小僧の次なる標的は、姫路藩御用達の廻船問屋「岩戸屋」。岩戸屋弦蔵は播磨の虎吉と手を結び、三ツ石港沖で阿片の抜け荷を計画しており、そしてその黒幕には、姫路藩勘定奉行、黒田典膳がついている。彼らの座敷に招かれ、踊りを披露しつつ様子を探る花村家お柳。

母を訊ねる道中で、真三郎は、健吉から彼が手離さず持つ赤い風車と、母が唄った子守唄代りの「下津井節」のことを聞いて、「きつとおつ母ちゃんに逢わしてやるぜ」と心に決めますが、そんな折、高熱を出した健吉を、居合せた花村家一座に託し、「下津井節」を頼りに宿場くを捜します。そんな彼を黒松一家に矢七殺しは真三郎だとふき込まれた、お美乃の兄で、旅鳥の尾ノ道の佐吉は、妹婿の仇とねらっています。

姫路―虎吉が営む女郎屋「姫路楼」、お美乃という名だけが頼りで尋ねる真三郎の耳に「下津井節」が聞えてきます。歌の主はお紺。健吉の名を聞いて、顔色を変え、矢七が死んだと聞いて固唾を飲むお紺。もしや……